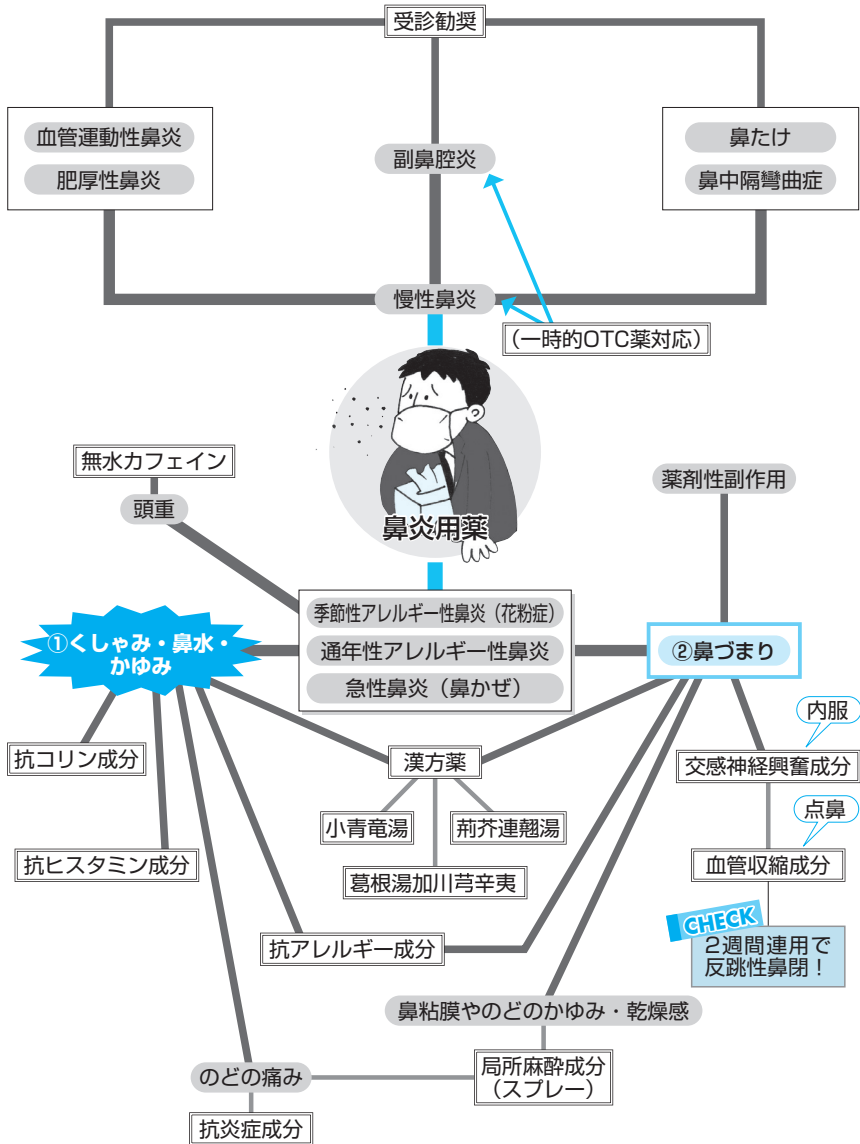


# 鼻炎用薬

## イメージマップ



## 解説

鼻炎は鼻粘膜の炎症で、季節性アレルギー性鼻炎（花粉症）、通年性アレルギー性鼻炎、急性鼻炎（鼻かぜ）、慢性鼻炎があります。

アレルギー性鼻炎は、花粉や室内のほこり、カビや孢子、動物の毛などによって引き起こされ、発作的なくしゃみの連発、多量の鼻水、鼻づまりが三大症状です。鼻以外の症状としては、頭が重い、なみだ目、皮膚のかゆみなどがあります。

急性鼻炎はかぜウイルスによる鼻かぜで、くしゃみ・鼻水・鼻づまりが主な症状です。

慢性鼻炎では、長期間、鼻炎の症状が続きます。背景には、血管運動性鼻炎、肥厚性鼻炎、副鼻腔炎、鼻たけ、鼻中隔彎曲症などがあり、専門医による治療が必要です。したがって、これらの治療はOTC薬では対応できないので、受診を勧めます。

「鼻炎」とつくものはこのように同じ症状を呈するので、OTC薬を勧めるときには、鼻炎の各症状に適した薬を選択します。

### ①くしゃみ・鼻水・かゆみ

異物（抗原）が生体内に入ると、貪食細胞に取り込まれ、情報がTリンパ球からBリンパ球へ伝わり抗体がつくられ（IgE抗体）、これが肥満細胞や好塩基球上に付着するという感作が起こります。感作後に再び抗原が入ってくると、抗原抗体反応が起こり、肥満細胞内から多くの化学伝達物質（ヒスタミン、ロイコトリエン、トロンボキサンA<sub>2</sub>、血小板活性化因子）が放出され、さまざまな生体反応（アレルギー症状）が引き起こされます。こうして放出されたヒスタミンは鼻粘膜の知覚神経や副交感神経を刺激してくしゃみを起こし、副交感神経末端から鼻腺へ刺激が伝わりアセチルコリンの分泌が亢進して腺分泌が引き起こされ、大量の鼻水が出るという一連の反応が起こります。

鼻炎用薬には内服薬と点鼻薬がありますが、くしゃみ・鼻水が主症状の人には、くしゃみ・鼻水などのアレルギー症状を抑える抗ヒスタミン成分と、鼻水の分泌を抑える抗コリン成分の配合された内服薬を勧めます。

#### 〈内服薬の成分〉

- くしゃみ・鼻水を和らげる抗ヒスタミン成分のクロルフェニラミンマレイン酸塩（大半のOTC薬に配合。第1世代のため眠気が強い）。ほかにジフェニルピラリン塩酸塩、カルピノキサミンマレイン酸塩、第2世代の眠気の少ないメキ

タジン

- 鼻汁分泌を起こすアセチルコリンの分泌を抑制する（抗コリン成分）ヨウ化イソプロパミド、ペラドンナ総アルカロイド
- 鼻粘膜の毛細血管を収縮する作用により鼻づまりを緩和する交感神経興奮成分のプソイドエフェドリン塩酸塩、フェニレフリン塩酸塩、*dl*-メチルエフェドリン塩酸塩
- 鼻粘膜の炎症を抑える抗炎症成分のリゾチーム塩酸塩、グリチルリチン酸
- 細胞からの化学伝達物質の遊離を抑える作用をもつ抗アレルギー成分のケトチフェンフマル酸塩、アゼラスチン塩酸塩
- 炎症による頭痛や頭重感を和らげ、抗ヒスタミン成分による眠気を防止する無水カフェイン（内服薬の大半に配合）

## ②鼻づまり

鼻づまりは、一連のアレルギー反応が起こりヒスタミンが遊離されることにより、鼻粘膜の血管が拡張し、透過性を亢進するため引き起こされます。鼻づまりに対しては、抗ヒスタミン成分や抗コリン成分では十分な効果が得られないため、毛細血管の $\alpha_1$ 受容体を刺激し、充血した鼻粘膜血管を収縮させる作用がある血管収縮成分を配合した点鼻薬を勧めます。

鼻づまりをもたらすもう1つの原因として、化学伝達物質のロイコトリエンやトロンボキサン $A_2$ 、好酸球やリンパ球などの炎症性細胞の浸潤によって起こるメカニズムがあります。鼻づまりが強い場合には、これらの化学伝達物質を抑制する作用の医薬品による治療を受けなければならないので受診を勧めます。

### 〈点鼻薬の成分〉

- 鼻粘膜血管を収縮させ鼻腔中の腫れを緩和する血管収縮成分のナファゾリン塩酸塩、テトラヒドロゾリン塩酸塩
- くしゃみ・鼻水を和らげる抗ヒスタミン成分のクロルフェニラミンマレイン酸塩
- 鼻腔内を清潔にし、鼻づまりなどの緩和と二次感染を予防するための殺菌成分としてベンザルコニウム塩化物やベンゼトニウム塩化物
- 鼻粘膜や、のどのかゆみ・乾燥感・不快感を和らげるために知覚神経を鈍麻させる局所麻酔成分のリドカイン
- 肥満細胞から化学伝達物質が遊離されるのを抑制し、アレルギー反応を起こりにくくする抗アレルギー成分のクロモグリク酸ナトリウム、ケトチフェンフマル酸塩（効果発現まで早くて3日、通常2週間）

## CHECK

## ● 2週間連用で反跳性鼻閉！

点鼻薬の使用回数については注意が必要です。

血管収縮成分の配合されている点鼻薬は連用すると血管が過剰に縮み、組織に十分な酸素が行き渡らなくなります。体はその状況を打開するため逆に今度は血管を広げて酸素を確保しようとするので鼻づまりが起こります。目の奥が痛くなったり、頭が痛くなったりした場合は使用を直ちに中止するよう伝えなければなりません（3日間使用しても症状の改善が見られない場合は使用を中止します）。

また、抗アレルギー成分配合の点鼻薬は、成分によって使用回数異なるため、販売時には下記のように十分説明を行います。

クロモグリク酸ナトリウムは医療用では単剤であり、1日6回使用できますが、OTC薬のクロモグリク酸ナトリウム配合の点鼻薬はそれ以外にも血管収縮成分のナファゾリン塩酸塩や抗ヒスタミン成分と一緒に配合されているため、医療用のように連用使用はできません。症状がひどいときだけの使用とするか、OTC薬の添付文書にあるように1日3回～5回、連用は3時間以上あける必要があります。

なお、ケトチフェンフマル酸塩配合のOTC薬は単味製剤であるため、医療用と同じ用法で1日4回使用できます。



## 販売前に確認

## ● ほかのOTC薬を服用していますか？

鼻炎薬のなかに配合されている成分として、抗ヒスタミン成分、抗コリン成分、交感神経興奮成分（血管収縮成分）、カフェイン、抗アレルギー成分などがあげられます。

これらの成分を含むOTC薬には、総合感冒薬、鎮咳去痰薬、胃腸薬、眠気防止薬、乗り物酔い予防薬などがあり、併用することで成分が重複すると、抗ヒスタミン成分の場合には眠気が強まったり、抗コリン成分の場合は口渇や便秘などの副作用が出る可能性もあるので、確認が必要です。

## ● 治療中の病気はありますか？

鼻炎用薬の成分のうち、交感神経興奮成分（プソイドエフェドリン塩酸塩、フ

エニレフリン塩酸塩、*d*l-メチルエフェドリン塩酸塩)は、交感神経を刺激して血管を収縮させることにより、鼻粘膜のうっ血をとり鼻づまりを和らげますが、血管を収縮させることで血圧が上昇したり、心機能亢進で心拍数増加が起こったり、解糖系促進により血糖値を上昇させる作用があるので、高血圧・心臓病・甲状腺機能亢進症の症状を悪化させるおそれがあります。

また、血圧のチェックが必要な成分としてグリチルリチン酸があります。鼻炎薬のなかの抗炎症成分(生薬カンゾウの主成分)ですが、大量に摂取することで偽アルドステロン症(ナトリウム貯留、カリウム排泄促進)を起こし、むくみや血圧上昇、低カリウム血症(筋力低下、脱力感、手足のしびれ、脈の乱れ)を引き起こすことがあるため、高血圧の人にはカンゾウが含まれていない商品を選びます。

一方、抗コリン作用(散瞳を起こす)、交感神経興奮作用(散瞳)をもつ薬により、房水流出路(房水通路)が圧迫され、眼圧が上昇するおそれがあるため、緑内障の人には注意が必要です。さらに、抗コリン作用により膀胱排尿筋が緩んで尿を貯え、尿道括約筋が収縮することで排尿が抑えられ、尿が出にくくなってしまうことがあるため、排尿障害がないかを確認してから販売しましょう。

### ●車の運転はしますか？ お仕事は危険を伴いますか？

鼻炎用のOTC薬は、ヒスタミン由来の炎症を緩和するために抗ヒスタミン成分が配合されていますが、副作用に眠気があるため、仕事上不都合な人には漢方薬を勧めます。また、眠くなりにくい医療用医薬品が望ましいこともあるので、そのような場合は受診を勧めます。

## ！ 生活の留意点

### ●鼻炎を予防するために

**掃除**：家の中は、アレルギーの原因となるホコリやダニの死骸・糞、ペットの毛などを取り除くためにまめに掃除をしましょう。また、布団はよく日に干して乾燥させたあとに、浮き出たダニなどを掃除機で吸い取りましょう。

**保温**：急激な気温差は症状を誘発するので保温を心がけましょう。体を冷やさないことが大切です。

**花粉対策**：花粉の飛散する時期には、外出時にマスクや眼鏡をしましょう。また、テレビや新聞、インターネットなどの花粉情報を有効に利用しましょう。

**嗜好品**：刺激物のとりすぎを避け、喫煙やアルコール摂取を控えましょう。アルコール摂取により鼻づまりが悪化することがあるため、症状がひどいときにはできるだけ控えましょう。

**ストレス**：ストレスをためないようにし、十分な睡眠をとりましょう。

## 主な商品・特徴

分類	主な商品名（例）	特徴・注意・効能効果
〈内服薬〉 抗アレルギー成分配合	①スカイナーAL錠 など (第2類医薬品) ②ザジテンAL鼻炎カプセル、パブロン鼻炎カプセルZ (第2類医薬品)	<b>【特徴】</b> ①1日2回服用 アゼラスチン塩酸塩含有。医療用医薬品のアゼプチン®のスイッチ成分。第2世代の抗ヒスタミン薬で抗アレルギー作用もある鼻炎の症状に用いるときは1週間服用して効果がない場合は受診を勧める(じん麻疹、湿疹・かぶれなどにも効果がある) ②ケトチフェンフマル酸塩含有。医療用医薬品のザジテン®のスイッチ成分で、第2世代の抗ヒスタミン薬で抗アレルギー作用も有する(鼻炎に効果発現するのに早くて3日、2週間くらいかかることもある) <b>【注意】</b> 眠気があらわれることがあるため車の運転を避ける 抗ヒスタミン薬の抗コリン作用により、眼圧上昇や排尿障害、口渇などの副作用が出る可能性がある <b>【効能効果】</b> 花粉、ハウスダスト(室内塵)などによる次のような鼻のアレルギー症状の緩和：くしゃみ、鼻水、鼻づまり
〈内服薬〉 抗ヒスタミン成分配合	①アルガード鼻炎内服薬Z など (指定第2類医薬品) ②ロートアルガード鼻炎ソフトカプセルEX (指定第2類医薬品) エスタック鼻炎ソフトニスカップ、スカイナー鼻炎N など (第2類医薬品) ③ストナリニS、コンタック600ST など (第2類医薬品) ④クールワン鼻炎チュアブル、ストナリニ・サット など	<b>【特徴】</b> ①メキタジン配合。医療用医薬品のゼスラン®、ニボラジン®のスイッチ成分。持続性(12～16時間)があり、眠気の少ない第2世代の抗ヒスタミン薬 ②1日2～3回タイプ 大半の商品は抗ヒスタミン成分のクロロフェニラミンマレイン酸塩、抗コリン成分のペラドンナ総アルカロイド、交感神経興奮成分のプソイドエフェドリン塩酸塩を基本配合として、頭重解消のために無水カフェイン、のどの痛みの緩和に抗プラスミン成分のトラネキサム酸、抗炎症成分のグリチルリチン酸二カリウムなどが配合されている ③持続性経口薬(1日1～2回タイプ)

分類	主な商品名（例）	特徴・注意・効能効果
	(第2類医薬品)	<p>ストナリニSは1日1～2回服用。錠剤が胃液で溶解する外層と、腸で溶ける内核の二重構造になっていて、作用が長く続くよう製剤の工夫がされている（持続性製剤）</p> <p>コンタック600STは1日2回服用で、即効性の粒（層）と徐放性の粒（層）をバランスよく配合し、長時間にわたって有効成分が徐々に放出されるよう製剤の工夫がされている</p> <p>④水なしで服用できる</p> <p>クールワン鼻炎チュアブルは、アルミの袋を開封したあとは高温・多湿を避けて保管する（湿気を帯びやすい）</p> <p>ストナリニ・サットは、口腔内崩壊錠SATAB（サットタブ）採用。メントール配合で清涼感がのどから鼻に広がる。d体のマレイン酸クロルフェニラミン配合で眠気が比較的少ない。用法用量（大人15歳以上）は1回2錠を1日3回、かむか口中で溶かして服用する。服用間隔は4時間以上あける</p> <p><b>【注意】</b> 抗ヒスタミン成分による眠気、抗コリン成分による口渇や発汗抑制、便秘、眼圧亢進、排尿障害、心悸亢進に注意</p> <p><b>【効能効果】</b> 急性鼻炎、アレルギー性鼻炎または副鼻腔炎による次の諸症状の緩和：くしゃみ、鼻水、鼻づまり、なみだ目、頭重、のどの痛み</p>
〈外用薬〉 抗アレルギー成分配合	<p>①ザジテンAL鼻炎スプレー、バブロン点鼻Z（第2類医薬品）</p> <p>②エージーノーズ、ロートアルガードST鼻炎スプレー、ナザールブロックなど（第2類医薬品）</p>	<p><b>【特徴】</b></p> <p>①第2世代の抗ヒスタミン薬で、抗アレルギー作用をもつケトチフェンフマル酸塩含有。医療用と同じ単味成分のスイッチOTC。使用回数は1日4回点鼻</p> <p>②クロモグリク酸ナトリウム配合。医療用医薬品のインターール<sup>®</sup>のスイッチ成分だが、血管収縮成分のナファゾリン塩酸塩配合のため使用は1日3～5回噴霧と制限がつく。化学伝達物質（ヒスタミン、ロイコトリエン）遊離抑制作用によりアレルギーの発症を防ぐ。クロモグリク酸ナトリウムの効果発現は遅く、約2週間連用であらわれる。OTC薬は即効性を期待するため、抗ヒスタミン成分と交感神経興奮成分が配合されている</p> <p><b>【注意】</b></p> <p>①副作用の眠気のため、車の運転、機械の操作をしない</p> <p>②使用にあたっては1日3～5回両鼻腔内に</p>

分類	主な商品名（例）	特徴・注意・効能効果
		噴霧。3時間以上の間隔をおく <b>【効能効果】</b> 花粉、ハウスダスト（室内塵）などによる次のような鼻のアレルギー症状の緩和：くしゃみ、鼻水、鼻づまり（②は頭重にも適応）
〈外用薬〉 抗ヒスタミン成分配合	ナザール「スプレー」、アルガード鼻炎クールスプレーa など（第2類医薬品）	<b>【特徴】</b> 使用回数は1日6回までが多い 通常の医薬品の配合は、交感神経興奮成分、大半は抗ヒスタミン成分が多く、それに殺菌成分（二次感染予防）、局所麻酔成分（鼻粘膜の痛み・かゆみを緩和する）が配合されている <b>【注意】</b> 長期連用すると交感神経興奮成分の作用（血管収縮）による二次充血により鼻づまりがあらわれるおそれがある。副作用については、内服薬と同様 <b>【効能効果】</b> 急性鼻炎、アレルギー性鼻炎または副鼻腔炎による次の諸症状の緩和：鼻づまり、鼻水、くしゃみ、頭重
〈外用薬〉 副腎皮質ホルモン配合	ナザールAR〈季節性アレルギー専用〉、コンタック鼻炎スプレー〈季節性アレルギー専用〉（第1類医薬品）	<b>【特徴】</b> ベクロメタゾンプロピオン酸エステル配合。医療用医薬品のアルデシン®AQネーザルやナイスビー®のスイッチ成分。季節性アレルギー専用のステロイド点鼻薬で、効果発現に1～2日かかる <b>【注意】</b> 通年性アレルギー性鼻炎の人は使用禁止（漫然と使用するのを防ぐため） 18歳未満、妊婦は使用しない 1ヶ年に1ヶ月を超えて使用しない 1日2回（朝・夕）4噴霧。1日最大4回（8噴霧まで） <b>【効能効果】</b> 花粉など季節性アレルギーによる症状の緩和：鼻づまり、鼻水（鼻汁過多）、くしゃみ
〈外用薬〉 局所麻酔成分配合	ベンザ鼻炎スプレー、アネトンコールタイジン、新ルル点鼻薬、コルゲンコーワ鼻炎ジェット など（第2類医薬品）	<b>【特徴】</b> 局所麻酔成分のリドカイン配合。リドカインの作用により、かゆみなどの鼻の不快感を和らげる <b>【効能効果】</b> 急性鼻炎、アレルギー性鼻炎または副鼻腔炎による次の諸症状の緩和：鼻づまり、鼻水、くしゃみ、頭重

分類	主な商品名(例)	特徴・注意・効能効果
生薬成分配合薬	①アネトンアルメディ鼻炎錠 など (指定第2類医薬品) ②キッズバファリン鼻炎シロップS など (指定第2類医薬品) ③こどもパブロン鼻炎液S など (第2類医薬品)	<b>【特徴】</b> ①サイシン、ショウキョウ、シンイなど配合 ②サイシン流エキス配合 ③ケイガイ流エキス、シンイ流エキス配合 サイシン、シンイ、ケイガイはアレルギー用薬、鼻炎用薬に配合される サイシン：鎮痛作用、鎮咳作用、利尿作用 ショウキョウ：健胃作用、発汗作用 シンイ：鎮静作用、鎮痛作用、抗炎症作用 ケイガイ：発汗作用、解熱作用、鎮痛作用 <b>【効能効果】</b> 急性鼻炎、アレルギー性鼻炎または副鼻腔炎による次の諸症状の緩和：くしゃみ、鼻水、鼻づまり、なみだ目、頭重、のどの痛み
漢方薬	エスタック漢方「小青竜湯」エキス顆粒、「クラシエ」漢方小青竜湯エキス錠 など (第2類医薬品)	<b>【特徴】</b> 水っぽい鼻水・くしゃみに。体の虚弱な人、胃腸の弱い人には向かない <b>【効能効果】</b> 体力中等度またはやや虚弱で、うすい水様の痰を伴う咳や鼻水が出るものの次の諸症：気管支炎、気管支喘息、鼻炎、アレルギー性鼻炎、むくみ、感冒、花粉症
	「クラシエ」漢方葛根湯加川芎辛夷エキス錠 など (第2類医薬品)	<b>【特徴】</b> 鼻づまり、少し粘稠な鼻水、蓄膿症、慢性鼻炎に。体の虚弱な人、胃腸の弱い人には向かない カンゾウ・マオウ含む <b>【効能効果】</b> 比較的体力があるものの次の諸症：鼻づまり、蓄膿症(副鼻腔炎)、慢性鼻炎
	荊芥連翹湯エキス錠Fクラシエ など (第2類医薬品)	<b>【特徴】</b> 鼻づまりが強く黄色い粘稠な鼻水、蓄膿症、慢性鼻炎に。胃腸の弱い人には向かない カンゾウ含む <b>【効能効果】</b> 体力中等度以上で、皮膚の色が浅黒く、ときに手足の裏に脂汗をかきやすく腹壁が緊張しているものの次の諸症：蓄膿症(副鼻腔炎)、慢性鼻炎、慢性扁桃炎、にきび

(塚原 俊夫)